学校番号	119

令和３年度　地理歴史　科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	詳説「世界史Ｂ」　（山川出版社）						
副教材等	明解世界史図説エスカリエ十一訂版（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史の内容を理解するだけではなく，予習・授業・復習のサイクルを身に付け、反復により用語と流れを定着させるなどの学習方法を他の学習においても活かせるようになって欲しい。引いてはそれを進路実現においても活用していけるようになって欲しい。

世界各地の事柄を学ぶことによって，他国の人々の考え方，文化について理解を深め，グローバル社会を生きるための土台を築き，世界各国の人々との交友を深めていく人になって欲しい。

2　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史、環境要因等と関連付けながら理解させ，文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって，単純に用語を暗記するのではなく，空間的な歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	世界の歴史から課題を見いだし，文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。歴史の流れを地図を利用して地理的な観点から判断している。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史,環境要因等と関連付けながら理解し,その知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 身の回りを整え授業に取り組む姿勢が出来ているかどうか。 顔を上げて話を聞こうとしているかどうか。積極的に発問に応えようとしているかどうか。	発問評価 発問に対して既習の内容を踏まえ論理的に答えられているかどうか。	提出課題 課題の中身において、地図や図表を正しくまとめられているかどうか。	定期考査 細かな事象についての語句を正しく理解できているかどうか。 論述問題においてきちんと解答できているかどうか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第1章　オリエントと地中海世界	・西アジア世界の地理的特質を把握し，オリエント文明の盛衰を理解させる。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し，エーゲ文明，ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解させる。 ・都市国家から大帝国に発展したローマ文明の特質とイラン人の活動を理解させる。	◎	○	◎	○	a: 西アジア世界・地中海世界とそれをまとめあげたヘレニズムローマについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 西アジア世界と地中海世界の風土・社会・政治・文化・宗教について共通点や相違点を考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 地図など各種資料を活用して，西アジア世界と地中海世界の関連する事項を年代順に並べ関連する点などに着目して整理している。 d: ギリシア・ローマ両文明の特色について理解し，その知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査
	第2章　アジア・アメリカの古代文明	・南アジア世界の地理的特質を把握し，独自のインド文明が成立，発展したことを理解させる。 ・東南アジア世界の地理的特質を把握し，海と結びついた独自の文化を理解させる。 ・南北アメリカ世界の地理的特質を把握し，先住民文化の特色を理解させる。	◎	○	○	◎ ○	a: 独自に成立・発展した南アジア世界と東南アジア世界について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 南アジア世界と東南アジア世界の風土・社会・政治・文化・宗教について共通点や相違点を考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 地図など各種資料を活用して，南アジア世界と東南アジア世界の共通点や相違点などを読み取っている。 d: 南アジア世界と東南アジア世界の文明について理解し，その知識を身に付けている。 d:南北アメリカの先住民について理解し，その知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査 定期考査

2学期	第3章　内陸アジア世界・東アジア世界の形成	・東アジア世界の地理的特質を把握し，中国文明の形成から秦・漢帝国の成立について理解させる。 ・中国古代帝国と東アジア諸地域との政治的・文化的な結びつきを理解させる。 ・強大な遊牧国家の成立から遊牧騎馬民族の動向を，中国の諸王朝と関連して理解させる。 ・魏晋南北朝時代の分裂時代をへて隋唐帝国の成立が，遊牧民や漢人など多様な人々を統治する胡漢融合国家であったことを理解させる。 ・唐帝国の影響を受け，朝鮮半島や日本列島で独自の国家形成が進んだことを理解させる。	◎	○ ◎	◎	◎ ○	a：東アジア世界について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：中国文明の成立から秦・漢に至る中国古代帝国の成立までの支配制度・経済・文化について考察し，その過程や結果を適切に表現している。 d：朝鮮半島や日本列島を含む東アジア世界の文明について理解し，その知識を身に付けている。 b：中央ユーラシア世界の遊牧諸国家が胡漢融合国家の形成にあたえた影響について考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c：「テーマ１」を活用して，関連年表を確認しながら，唐代までの東アジアの国際関係について，冊封体制の形成や律令体制の普及に着目して，読み取っている。 d：胡漢融合帝国のもと進められた朝鮮半島や日本列島の国家形成について理解し，その知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 定期考査 発問評価 提出課題 定期考査
	第4章　イスラーム世界の形成と発展	・イスラームの誕生から大帝国に発展したイスラームの特質とアラブ人の活動を理解させる。 ・トルコ系諸民族によるイスラームの拡大や，インド・アフリカでのイスラーム化の過程を理解させる。 ・ムスリム商人の活動が，イスラーム諸都市を結ぶ国際商業ネットワークをつくりあげたことを理解させる。	◎	○	◎	○	a：ムハンマドの登場から大帝国に発展したイスラームについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：トルコ系諸民族によるイスラームの拡大や，インド・アフリカでのイスラーム化において共通点や相違点を考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c：「ムスリム商人のおもな交易路と交易品」の地図を活用して，イスラームの都市と文化の特色を読み取っている。 d：イスラーム世界の形成と拡大，都市と文化の特色について理解し，その知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査

3学期	第5章　ヨーロッパ世界の形成と発展	・ヨーロッパ世界の地理的特質を把握し，フランク王国の形成やヴァイキングの活動を理解させる ・ビザンツ帝国の盛衰と，ギリシア正教圏の拡大を理解させる。 ・封建社会の成立から十字軍前後のラテン=カトリック圏の動向を理解させる。 ・スコラ学や大学の成立など，キリスト教世界のなかの文化の特色を理解させる。	○	◎	○	○	a: ヨーロッパ世界の形成と発展においてキリスト教が果たした役割について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: ラテン=カトリック圏の形成と展開について，ギリシア正教圏との共通点や相違点を考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 荘園の様子などの資料を活用して，生産力の上昇や村落の形成，商業と都市の発展を読み取っている。 d: ヨーロッパ世界の特色について理解し，その知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査